

## 平成 24 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



佐々木 健（ささき けん）

医療法人社団きのこ会きのこエスポール病院

1948 年 2 月 22 日生まれ

### 【授賞理由】

佐々木氏がこれまでに行った認知症ケアに対するさまざまな取り組みは、わが国の高齢者福祉対策の歴史そのものといえます。よりよいケアを目指し常に試行錯誤しながら、前向きに一医師としてまた一人の人間として携わってきたその活動は、認知症の人のみならずケアに携わるすべての人々に対し多大なる勇気を与えたといえます。

### 【略歴】

1974 年 3 月	鹿児島大学医学部卒業
1974 年 6 月～1978 年 12 月	岡山大学附属病院
1979 年 1 月～1980 年 10 月	財団法人仁和会笠岡病院
1980 年 11 月～1984 年 4 月	きのこ診療所
1984 年 5 月～	きのこエスポール病院

### 【業績および活動内容】

1984 年に認知症専門病院を開設しました。当時は、身体的抑制・薬物的抑制・言語的抑制が当たり前でした。そのような中で、抑制や禁止は症状を悪化させるという考えから自由放任ケアと称して 5 年ほどケアを行いました。その結果、病棟が危険物を撤去したため殺風景な環境となるとともに、徘徊が自由にできるような回廊式廊下や特殊トイレ・つなぎ服の利用など特殊性が発達しました。これらの誤りに気づきいろいろな場で発表をしましたが、回廊式廊下が 1988 年の重度認知症治療病棟の施設基準として制度化されたことは今でも残念に思っています。

1990 年頃より向精神薬による薬物療法を制限し、作業療法等を行いました。しかし、職員不足や認知症高齢者への理解不足により集団的処置の域を脱することができませんでした。これらの反省から、私も含めすべての職員が認知症の人の人権や尊厳・個性を重視した、かかわりケア（人間的な）に転換できるよう教育しました。

その後、日本認知症ケア学会設立総会における長谷川和夫先生の講演からパーソン・センタード・ケアの考え方を基にした「人間としての共通点に視点を移したケア」「病人中心のケアから人間中心のケア」という視点を医療の中に導入することが、認知症の人のためになるということを経後も多くの人々に伝えていきたい。また、認知症ケアに携わる人々に更なるエールを送りたい。

## 【著書】

佐々木健：丘の上のエスポール；心は決して死んどられん．エムジー，東京（1988）．

佐々木健編：痴呆病棟の一日；モーニングケアからナイトケアまで．医学書院，東京（1992）．

きのこエスポール編著：痴呆の常識・非常識；まんが・エッセイでやさしく理解する．日総研出版，名古屋（1998）．

佐々木健監修：認知症ケアの十ヶ条．筒井書房，東京（2004）．

佐々木健：新・ボケても心は生きている；（認知症ケア）20年の実践と改革．創元社，大阪（2005）．

佐々木健監修：認知症ケアの学校；「その人らしさ」を大切にしたい新しい認知症ケアのバイブル．日総研出版，名古屋（2006）．

ほか，多数

## 【DVD】

長谷川和夫監修：認知症ケア．NHK厚生文化事業団，東京（2012）．